



### 健やかな育ちを応援「地域子ども教室」

自然体験やスポーツ、学習などさまざまな体験の場を、放課後や週末を利用して次代を担う子ども達に提供する「地域子ども教室」。

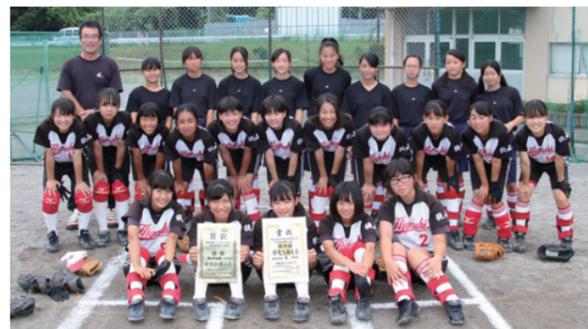


それぞれの教室では、運営などに地域の皆さんが主体的にかかわっています。今年度新たに加入した「みかりばっ子放課後教室」を含め、現在15教室になりました。

5月23日(金)には、御狩場小学校の校庭や体育館を利用して、初となる「みかりばっ子放課後教室」を開催。子ども達は、地域の方々にボードゲームや野球などを教えてもらったり、学年が違う友達とサッカーで遊んだりしながら、家族や学校とは違う触れ合いのひとときを過ごしました。



### 東中学校 ソフトボール部



私たちソフトボール部は3年生5人、2年生11人、1年生9人の25人で活動しています。部員全員が初心者からスタートしましたが、先輩方から引き継いだ技術と精神力で、6月の学校総合体育大会では市大会を勝ち抜き、3年連続で地区大会へ出場しました。

ここで3年生は引退しますが、これからも県大会出場を目標に頑張っていきます。

### 大人が楽しめば、子どもも笑顔！

7月9日(水) / スキルアップ講座(総合子育て支援センター)

子育て支援者とママを対象にしたこの講座。参加者は、日ごろ子どもに接している保育士から、手遊びなどをおして子どもと遊ぶコツを教わりました。



### できたてのうどんは喉越しが最高

7月26日(土) / 手打ちうどんにチャレンジ(広瀬公民館)



「広瀬男性料理サークル」の皆さんが、親子にうどんの打ち方を指導。こねたりのばしたりと力のいる作業を経て、慎重に切ると…うどんが完成！

## 狭山の今昔物語 Vol.41 —レントゲン車—

昭和40年代から50年代にかけて、肺や胃の病気の早期発見に活躍したレントゲン車。毎年7月には結核検診のため、市内各所を巡回していましたが、59年7月、狭山台地区に保健センターがオープンして検(健)診事業をセンターや医療機関で行うようになり、レントゲン車は狭山市での役割を終えました。



↑ 感染者の早期発見に大きな成果を上げた移動結核検診。(昭和43年)



↓ 保健センターのレントゲン装置。月に新しい検査機器を導入予定

### お祭りが呼ぶ故郷の香り

7月26日(土) / ふるさと祭り(堀兼・狭山台地区)

夏祭りの季節がやってきました。堀兼と狭山台では、毎年、地区の自治会連合会が中心となってふるさと祭りを開催しています。地域で育った子どもや大人、久しぶりに地元に戻ってきた人々などが一堂に会し、愛郷心と地域のきずなが一層強まりました。

にぎやかなお囃子の音に自然と子ども達も集まって(堀兼ふるさと祭り)



幼稚園児と保護者のフラダンス(狭山台ふるさと祭り)

### ゆっくり学び、しっかり復習

7・8月 / サマースクール(市内小・中学校)

市内の小・中学校23校で行われたサマースクール。児童・生徒たちは、1学期の授業の復習や基礎からの内容を学びました。SSVC(学校ボランティアセンター)のスタッフたちも参加し、授業をサポートしました。



SSVCのスタッフに英語を学ぶ生徒たち



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

### ハンドルを握るときは、ゆとりある運転で

7月15日(火) / 夏の交通事故防止運動出陣式(市役所)

7月15日からスタートした夏の交通事故防止運動。西武学園文理高校の生徒が一日警察署長となって、夏休みを前に交通安全を呼びかけました。特に自転車の交通事故が多発しています。交通ルールとマナーを守り、安全運転を心がけましょう。



啓発品を手渡し、安全運転をお願いする一日警察署長

### 災害に備える意識を持とう！

7月20・21日(日・祝) / 柏原防災キャンプ(柏原小学校)

災害に強いまち柏原地区を作ろうと、毎年行われている「防災キャンプ」に200名(うち宿泊は90名)が参加。会場では、炊き出しや初期消火を含む基本的な訓練から、簡易担架搬送など実際の災害時に即した訓練までを行い、防災意識の大切さを学びました。



簡易担架はポロシャツを使って